



必読!

- 最新サモア事情
「サモアこの頃」
by 小林秀野
- のすたるじあ...
「サモア放浪記」
by Mr シミッシュ
- 豪州からの便り
「パース珍道中」
by コージ山本

今年度の活動

- 第 2 回協力隊祭り
- H20-1 壮行会
- グローバルフェスタ
2008
- パンケケ激励ツアー
- 平野児童館
- 会計報告

サモ輪? サモ和? We are SAMOAN!

地道に活動を続けるサモア OB 会。イベントではたくさんの OB/OG、元専門家、元 SV、元調整員、その他関係者の方々の心意気あふれるお手伝いのおかげもあって、毎度盛況となっております。

そして学校や児童館等との交流も広がっており、お互いにイベントがあると参加を呼びかけ、お手伝いに行く...少しずつですが着実にサモアの「輪」がつながっています。この輪も今年ですでに 15 年。その間、山あり、谷ありの活動でしたが、今こうして多くの輪が出来ていることを考えると頑張ってきて良かったとしみじみ思います。設立当初はサモア関係者の殆どは JOCV で占められていましたが、現在は SV の方なども増え、当初の約 2 倍の 400 名を超えています。多くの人たちに支えられここまで来ました。今後もサモア関係者を含め多くの「輪」を作り、それを線でつなぎ、そして面に広げ、大きな心意気の「和」となっていけば...



サモアこの頃

サモアも急速にこの 5 年の間にカード社会の仲間入り。まずは携帯電話のプリペイドカード、2 社が売り上げを競っています。プリペイドカード(A)の裏面にある数字を携帯電話に入力。今では誰でもがというくらい携帯電話を持っています。テキストメッセージという形で簡単なメール交換もできます。銀行のキャッシュカードも ATM での引き出し、EFTPOS システムでお店での買い物、海外にある同じ銀行の ATM からの現金引き出しなどができるようになりました。このシステムは口座に必要な金額があることが条件です。わが PI 社でも機械を設置、航空券の購入に対応しています。(B,C)但しサモア人でこのキャッシュカードを使いこなしている人は限られています。

昨年私の住む借家にキャッシュパワーと呼ばれる電気代前払いシステム導入で電気メーター(D)が設置されました。事前に電気代を払い領収書をもらいますがこの領収書に記載の数字をメーターに自分で入力。にこにこマーク◎の時は電気代が満杯、使用するごとにこのマークが変化します。時期をみて 24 時間営業の電力公社の出店でキャッシュパワーを買います。電気代未納の解消、メーターリーダーを雇うコスト削減などと利点はあります。今年中にサモア全土にこのキャッシュパワーを設置完了予定だそうです。最近にこにこマークがいつ涙顔になるかビクビク。或る日突然電気代がなくなって真っ暗なんていう夜がくるかもしれません。

(A)



(B)



(C)



(D)



【PI 小林秀野】

毎年恒例 Mr.シミッシュのサモア訪問。いよいよ彼が、再び数学教師としてサモアに派遣される日がやってくるのか!?



大魔王は、どの人でしょう?



突然頼まれて久々の数学教師! さすがサモア!



かつての同僚先生と



顕微鏡を使った実習を行う隊員



小学校の「青空学級」?

サモア放浪記 2009 ~ Mr.シミッシュの軌跡 with 納豆 ~

今回で4度目のサモア訪問となった。いつも1週間程の滞在で駆け足になってしまうのですが、今回は3週間の長丁場なのでだいぶのんびりできました。長いので全部はとも書ききれないので、訪問場所別に要点を絞って書いていきます。

ホテル 大魔王 . . .

今回も宿泊は Vaivase-uta にある「ホテル 大魔王」(H9-3 システムエンジニア 佐久間氏宅)。宿代は1泊納豆1パック。今回も大量に納豆を輸入したので大魔王氏に贈呈。大魔王氏は現在サモアのIT業界を牛耳っているようで、毎日大忙しであった。朝いつも車で出かけ、夕方戻ってきてまた自宅で仕事、という毎日であった。土日も仕事し続けている時もあり、大変そうでした。体壊さないようにね。

学校訪問 . . .

かつての職場であるポール カレッジを訪問。昔よく数学を教えてあげたシスターが今は校長である。私が教えていた頃にいた先生は、校長ともう一人の女性の先生の2名のみである。今年から13年生がスタートしたが、13年生を教えられる数学の先生がいないようで校長は困っているようであった。

校長や他の先生の数学の授業見学をして廻る。午後になると校長に「忙しいから12年生の数学教えてくれ」と突然頼まれる。こんなところがサモアらしいなあ。というわけで久々の数学教師。11年振りかなあ。

金曜日に APIA に戻ろうとしたら、明日数学教えてほしい、と校長に頼まれてもう1泊することに。13年生の数学は先生がいないため校長が教えなくてはならないようだ。土曜日朝から教え始めたけど、全然分かっていないみたいだ。こんなんで大丈夫かなあ? また来て2年間教えてくれ、と頼まれたけど、2年は長いなあ。短期なら検討したいのだが。

今回学校で一番驚いたことは、「女の子がラグビーをやっていた」ことである。現在サモアの女子ラグビーナショナルチームが非常に人気で、学校で女の子がラグビーをやるようになってきたそうだ。時代は変わるものだ。

JICA 事務所訪問 . . .

納豆をいっぱい持って JICA 訪問。以前壮行会でお会いした川畑調整員に会って納豆贈呈。サモアの現状とか、ポールでの数学教師不足の件等色々話をする。

ポールは短期の要請が出ているのでどうでしょうか? と調整員より打診される。どうしよう。だんだん心が動いてきたなあ。日本に帰ってから検討しよう。

サバイイ訪問 . . .

以前ポールで一緒だったシスター達が、今 Savaii の小学校で教えているので訪問する。3人シスターが居たのだが残念ながら1人が突然の心臓発作で昨年亡くなったそうだ。

小さな村の小学校なので学校も小さい。1学年10名くらいなので1・2年生は合同クラス。同様に3・4年、5・6年、7・8年が合同で授業を行っている。幼稚園の部もあり合計5クラス。小学生達はとても可愛らしく、無邪気でした。

Savaii3日目に隊員職場訪問に行く。理数科教師隊員を訪ねる。生物の授業で顕微鏡を使用して花粉を見る実習を行っていた。顕微鏡は2台しかなく生徒達は交代で見えておりました。

HASH . . .

月曜は相変わらず HASH(走って飲む会)。毎回1回行って終わってしまうが今回は3度の HASH 訪問。もう知っている人はわずか3人となってしまったが、相変わらず HASH は盛況であった。

久々の参加にもかかわらず覚えてもらってよかったです。山道を駆け巡り、道なき道を走り、走り終わった後の VAILIMA は最高でした。(実は HASH とはおいしいビールを飲むために走る会だったので)

隊員時代は HASH をやる人はほとんどパラギだったので、今回は大分サモア人がいっぱいいました。時代は変わったのでしょうか。日本人の参加が数年無いそうで残念。

PALOLO DEEP、SLIDING ROCK . . .

お気に入りの Palolo Deep を数回訪れる。珊瑚礁の綺麗さは相変わらずであった。ビーチで寝転んでぼーっとしていると、サモアに来たんだなあ、という実感が湧いてくる。

最終日には SV の鈴木さんという方に誘われて PAPASEEA SLIDING ROCK に行く。岩の上を流れる水の上を滑る天然滑り台。久々なので滑り方忘れてしまったので鈴木さんの指導を受けながら徐々に慣れていく。滑り間違えると背中を打ってしまい痛い思いをする。滝壺で泳いだり、滝に打たれて修行したりと楽しい体験でした。

FIAFIA SHOW . . .

KITANO HOTEL の FIAFIA ショーに、サモア舞踊親善大使の Tina さんが出演するので日本人大勢で見に行く。

Tina さんは日本でサモアダンス教室を開いており、たまにサモアに来ては本場のダンスに触れているようです。日本では何回もお会いしましたがサモアで会うのは初めてです。

プロのサモアダンサーに混じっての踊りは見事でした。また是非見に来たいものである。

以上駆け足となりましたがサモア放浪記を終了します。

また再度サモア訪問の際は「サモア放浪記」続編を書きますので楽しみに。

サモアの皆様。楽しい旅でした。Faafetai tele lava. Fa Soifua

[H6-3 数学教師 清水幹雄]

第2回協力隊祭り

2008年4月19、20日の両日、JICA地球ひろばで第2回協力隊まつりが開催されました。

天候は曇り空。風が強く肌寒い日でしたが、サモアブース内はパンケケを揚げているお陰で寒く感じませんでした。JICA地球ひろばで行われるイベントということもあってか、どことなく親近感を感じ、我々も周りを楽しむ余裕ができました。今回、ブース前に遊びに来てくれた腹話術人形のトーマス君！彼のお陰で我々のテンションも上がり、楽しい2日間を過ごせました。

サモアブースでは、「民芸品販売」「写真展示」「パンケケ販売」を行いました。私が担当したのは恒例のパンケケ！回を重ねるごとに、確実に作り手の腕も上がっています。味もさることながら、形もまあよく揚がって美味しそうです。本場のパンケケをご存知の方々も、是非日本のパンケケもご賞味くださいませ。

今回お手伝いくださった皆さま、ブースを訪ねてくださった皆さま本当に感謝です。有り難うございました。

[H10-1 臨床検査技師 河野美和]

平成20年度1次隊壮行会開催

2008年6月23日(月)午後7時半より、JOCV 隊員2名、調整員1名の壮行会が新宿の某居酒屋で行われました。彼女達3名の他にOBやサモア関係者の方々計9名が参加し、壮行会と名づけたサモアズークの飲み会は、盛り上がり本当に楽しいものでした。

派遣を翌日に控えた久保田さんと大元さんの二人は溢れた期待感の熱さで、また調整員として8月に派遣予定の川畑さんは新たな職場を求める充実感の熱さで、私達のサモアの思いを再生し、そしてサモアの現在を共有させてくれました。またサモアダンスの藤原さんはサモアの香りをいっぱい漂わせて私達を魅了しました。みんな素敵です！

ちなみに私は、1983年から1985年まで、西サモア首都アピアの電話局で通信電力と空調設備の保守を担当しました。今は、昔となりました。しかし、そのサモアとの関係を未だ取り持ってくれているのが、サモアOB会です。そして現役の隊員と交わることができるのは、サモアOB会主催の壮行会です。壮行会は、私達OBが新隊員から元気を分けてもらう会だと思っています。(笑)

派遣中のみなさんのご健康と安全をお祈りいたします。

[S57-4 通信電力 近藤徹也]



RUNの後飲みながらくつろぐ
HASHER 達



Tinaさんと



トーマスくん



手前左が筆者

グローバルフェスタ JAPAN 2008

毎年、日比谷公園のキンモクセイの香りただよふ時節に開かれる「グローバルフェスタ」。2008年は10月4日および5日に催されました。

サモア OB 会は恒例の揚げたてパンケケを即売。近年その美味しさは定評となりつつあり、その味の虜になった都立 高校の女子生徒なども売り子や揚げ役スタッフとして飛び入り参加。またインターネットのコミュニティサイト「mixi」で広がったサモア好き仲間も加わり、ほとんど OB 会のパワーをしのぐ彼・彼女等の助けにより、お陰さまで過去最高の売り上げを記録するに至りました。

なお、本年はグローバルフェスタに合わせて JOCA による OB・OG 会のイベントが会場に隣接する日比谷公会堂で開催される予定とのことです。帰国後、ようやく落ち着いてきて気持ちに余裕が出てこられたサモア OB・OG 諸氏方に呼びかけいたします。是非とも今年のグローバルフェスタへは足を運んでくださり、このイベントにもご参加あれ。

[H6-2 音楽 澤井慶太]



平野児童館 ~ Samoa Teine Dancing Team 誕生 ~

昨年 2 月、江東区にある「平野児童館」で子どもたち向けにサモアの紹介(詳細ウェブサイト参照)を行いました。それがきっかけでその後同児童館と交流を深めていたところ今回イベント参加への依頼があり、同イベントへ参加しました

イベントの目的は、次世代を担う子どもたちが様々な国の人や国際交流に携わる人たちと、遊びや食事作りを通じて打ち解け仲良くなること。当日は JOCV の OB、シニアボランティアの OB、サモアダンシングチーム(Samoana Samoa)のリーダー、そして首都圏在住のサモア人の方々が駆けつけてくれたお陰で何と子供を含め総勢 12 名という大人数となりました。またサモア以外にもベトナムの JOCV・OG、ブルキナファソの方が参加されました。

午後 2 時、まずは「うどん作り」から開始。手や洋服などを真っ白にしながらうどんをコネるのに悪戦苦闘。コネ上げた後、子どもたちと一緒にうどんを切りますが、1m 以上も長いものや 2cm 位極太うどんがあり、子どもたちの個性を反映したバラエティーに富んだものとなりました。そしてうどんを煮る間、別室での「猛獣狩りゲーム」、児童館の本イベント担当者である信田さんが狩りのリーダー、そして我々が隊員となり、獲物を捕まえるためジャングルを探検します。リーダーは獲物を捕まえるため様々な仕草(縄を投げる、銃を撃つ)をし、そして後に続いている我々もリーダーと同じ仕草をします。そしてリーダーが獲物を捕まえるとその獲物の名前を呼びます。すると我々はその獲物の文字数だけ仲間を集めます。たとえば、「アウストラロピテクス」10 文字なので 10 人の仲間を集めなければなりません。そして捕まえた獲物により 5 人だったり、8 人だったりします。そして運悪く仲間を見つけられなかった人は... です。最初は大人も子どもも控えめでしたが最後は積極的にお互いに仲間探しをして楽しみました。ただこのゲームの成否はリーダーのノリの良さに掛かっていると言っても過言ではありません。そういう意味ではリーダー信田さんのノリは最高でした。信田リーダーありがとう。たくさんの獲物を捕まえることが出来ました。そうこうするうちにうどんが茹で上がり、元の部屋へ戻ってみんなで協力して作った個性豊かなうどんを楽しいお話とともにかき揚げ、ちくわ、なすの天ぷらと一緒に食べました。困みに味は関東風のしょうゆ味で、多くの子どもがお代わりをしていました。おいしいうどんを頂いた後、サモアンシバチームの皆さんは民族衣装に変身のため別室へ、そして子どもたちは先ほどの場所へ移動し再びゲームに興じました。シバの準備が整い子どもたちが戻ってくると「Samoa Teine Dancing Team」によるサモアンシバが披露されました。ダンサーは川上 fuatio さん、多田 Josephine さん、ティケ藤原さんの 3 人、ドラムは澤井さん。そして影のサポーターとして絹田さんと影山さん。参加者全員のコンビネーションにより平野児童館が「マサニ」常夏のサモアになった瞬間でした。説明の言葉などは必要ありませんね。とにかく本場サモアを彷彿させる迫力、OB 会のウェブサイトの写真と映像を見て下さい。マナヤシバ！今回ご協力頂いた方本当にありがとう御座いました。心より感謝いたします。Faafetai Lava！

[S63-3 システムエンジニア 大塚一雄]



Samoana Samoa



Samoa Teine Dancing Team

パンケケ激励ツアー

11月1日(土)、グローバルフェスタでパンケケ作成を伝授した愛弟子たちを激励するツアーが北風吹きすさぶ中敢行された。レンガで舗装された商店街を抜けるとそこはもう禁断の花園、足を踏み入れ目的の2階ブースに行ってみると「準備中」の貼り紙、風が強いため別の場所でパンケケを作成していた。愛弟子たちが作成したパンケケを味わったが我々のパンケケとはまた一味違った女子高生風のおいしさがあった。一体どんな味かという若さからくるものだろうか食感が「ふわふわ」して軟らかいのである。そう言ったこともあり、ブースに並んだ瞬間に瞬間に売れていくという状況を目の当たりにして、我々としてもうれしい限りであった。両日で200人分前後を販売し、その売上金は「ユニセフ」へ寄付するとのことであった。エラーイ！まさに“社会貢献”だ。今どきの若者はとよく言うがどうしてどうして立派だ。そして最後は愛弟子たちとのおきまりの記念写真を撮り今回のパンケケ激励ツアーは終了した。

【S63-3 システムエンジニア 大塚一雄】



祝！パンケケ完売

パース珍道中

サモア在任中に任国外研修で訪れたオーストラリア。何もかもスケールの大きさと物の豊富さに驚き、サモアで手に入らない物や便利な道具を買って帰ったものです。それから10年以上経った今、再びこの地に今度は仕事で滞在しています。サモアに限らず異文化の中に入ると、今まで非常識だったことが常識になったり、戸惑いの連続です。

食べ物と気候のせいでしょうか、ここ西豪州でも体が大きく、細かいことを気にしない人が大勢います。知らないのに自信たっぷりに答える、約束の1時間後に来る、たいしたことないのに忙しいと言う…など。一言で表すと「人は大ざっぱ、物は豊富」といった感じです。この特徴をよく表す例を紹介したいと思います。

このホームセンターは巨大で商品は大量です。水道の部品を買いに行き、山積みされた部品の棚を見つけましたが、数が足りなかったので店員に聞いてみました。「今は売り切れみたいだね。隣の店舗にあるよ。」と自信満々。それなら、隣のまで行ってみましたがやはり足りないの、歩いてきた恰幅のいい店員に聞きました。すると「君が探して見つからないなら、ここにはないということだ。」と言って去って行きました…

おそれ入りました。これで店員が勤まるのでしょうか？このように一部の小売店や飲食店、乗り物などの接客は最悪で、お客のために働いてあげているという印象です。こういう場面に出会う度サービスの後進国だと思い知ります。店員の大きな体格と相まって、もし急にサモアがお金持ちになって物が豊富になったら…という想像図と失礼ながら重ねてしまいました。経済と人が同時に成長するのは難しいんだなと感じます。

とまあここでは面白い例を挙げましたが、フレンドリーで明るく、家族を大事にするといった良い面もたくさんあります。また美しい海と広い空はすばらしく、いつでも大自然を楽しめます。機会があれば違った面からもご紹介できると思います。

【番外編・豪州の日用品】

普段なにげなく使っていたこんなものに、懐かしさを感じませんか？(写真)

歯磨きペースト: コルゲート。種類も増えましたが、違いはよくわかりません。

電源ソケット: ご存知「ハの字」コンセント。日本製品にはトランスをつなぐ。

ボールペンとノート: 太くてすぐインクが詰まるペンと、ぺらぺらの紙ノート。

セエパエ: 外出の必須アイテム。

【H9-3 技術科教師 山本耕司】



「千と千尋--」で列車のシーンのモデルになったバッセルトンの鉄道路

元サモア OB 会役員で
昨年オーストラリアへ
移住したコージ山本か
ら届いた近況報告。



パースの市内観光バス



青年海外協力隊 サモア OB 会

当サモア OB 会は、平成 6 年（1994 年）に青年海外協力隊サモア帰国隊員を中心に設立した任意団体です。会報発行、親睦会開催や外部組織と連携し幅広いサモアの広報活動等を行っております。

お問い合わせ /
メーリングリスト登録等
E-MAIL:
samoa@fafetai.net

サモア OB 会 Web サイト
URL:
<http://www.fafetai.net>

2008 年度収支報告

以下の通り 2008 年度の収支報告をさせていただきます。

本年度も当 OB 会にご支援、ご協力をありがとうございました。グローバルフェスタや協力隊まつりでは機材のレンタルや材料費などで負担が多いものの、サモア OB 会のパンケケがすっかり名物となり、多くの方々にブースを訪れていただくことができました。今後も様々なイベントへの参加や会報の作成などを通してサモアの広報および親善活動に役立てて参りますので、どうぞご支援をよろしくお願い申し上げます。

【H9-1 家政 坪井(数内)美香】

【2008年度暫定収支】			
収入		支出	
前年度繰越金	766,690	OB、関係機関等への通信費	17,360
会員年会費	29,000	JOCA年会費	30,000
協力隊まつり参加助成金	6,912	イベント(グローバルフェスタ等)経費	62,263
イベント(グローバルフェスタ等)収入	128,560	印刷費	43,400
JOCAからの助成金	140,000	雑費	1,425
		次年度繰越金	916,714
計	1,071,162	計	1,071,162

役員たちのつばやき ~ 編集後記

今回は役員以外の方にもご協力頂き、この場をお借りしてお礼申し上げます。また役員の方々もお疲れ様でした。話は変わりますが、先日の WBC における韓国との決勝戦しびれました。がんばる勇気を侍からもらいました。「侍日本」最高です！
【S63-3 システムエンジニア 大塚】

サモアから帰国してもうすぐ 20 年・・・月日の経つのは早いものです。すっかり変わってしまったサモアを見たい気もしますが、今の記憶のままにしておきたい気もします。
【S63-1 電話交換機 新井】

先日、ペルーに行ってみりました。マチュピチュを観てきました。私の知らない世界がまだまだたくさんあるのだと知らされました。
【H6-2 音楽 澤井】

再度のサモア行きを目指して JICA 短期ボランティアに応募しました。合格すれば、5 月末か 6 月からサモア生活となります。
【H6-3 数学教師 清水】

今号は遠くサモアのヒデさん、オーストラリアの山本さんから記事を受けていただき、ありがとうございました。楽しく懐かしく(そして驚きも!)拝見しました。ぜひ皆様も近況をお知らせください。
【H9-1 家政 坪井(数内)】

四季のある日本で生活していることが殆どなのですが、寒い季節にはサモアに帰りたいたい！気持ちが強くなります。せめて、モチベーションは常夏！と言い切れるようになりたい今日この頃です。
【H10-1 臨床検査技師 河野】

東京に来て 1 年が過ぎ、家のすぐ裏手の小金井公園では桜が咲き乱れております。毎朝自転車で公園内を通り抜けて通勤していますが、桜を見ると元気になります。現実がつかいのでしょうか。いえいえ、「潔く、気前良く」を体現してるようで。
【H9-3 測量 金谷】